

NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ

ナルク茂原
いちごの会

いちごだより



No. 145

- ◆ 事務局：〒297-0026 茂原市茂原 480 ◆ ☎ FAX 0475-26-5229 ◆ 代表：松永 徳弥
- ◆ E-mail：nalcmobara@yahoo.co.jp
- ◆ URL：http://nalcmobara2.g2.xrea.com

会場に親子の笑顔あふれる！

第17回「子どもあそびひろば」開催



茂原市長挨拶

アスモのセンターコート会場風景

「子どもあそびひろば」は10月26日(日)茂原ショッピングプラザアスモで行われ、生憎の雨天となったが会場には親子の笑顔があふれていた。

10時10分にオープニングセレモニーが始まり、松永代表が開会を宣言、市原淳茂原市長の祝辞があり、続いて鬼島義昭茂原市社会福祉協議会会長、鈴木敏文議会議員の来賓紹介と参加団体の紹介があった。また、会場には茂原市役所佐久間栄一福祉部長はじめ田中秀一秘書広報課長、渡邊哲弘茂原市社会福祉協議会事務局長にお見え頂いた。

今回は雨のため予定の公園駐車場でのブースは中止、センターコート内だけとなった。しかし、雨天にかかわらず会場いっぱい子どもたちが来てくれ、賑やかな楽しい「子どもあそびひろば」の開催となった。

ここで各ブースをのぞいてみる。

「おえかきと絵本の読み語り」ブースのおえかきはいろいろな絵描き道具等が使われ、子どもたちが見事な絵を描き人気を集めた。

「昔あそび②」(おはじき・お手玉・あやとり)ブースは今年から新しい会員が担当、それぞれに工夫を凝らし、それに茂原高校生も加わって楽しい演出に子どもたちは大喜びであった。「あやとり」にはじめて挑戦し、5回でやっとできた小学生の感動、その喜びに担当会員が私も元気をもらった、と話した。



<おえかき>

「工作あそび」ブースでは子どもたちが夢中になって牛乳パック工作を楽しんでいた。準備してきた100個のパックも不足したほどだったという。こちらも3人の茂原高校生が加わり、上手く役割を果たしてくれた。

「昔あそび①」(こま・ペーごま・めんこ)ブースはやはりこま回しに人気があり、付き添いのお母さん・お父さんまでもが夢中になって、子どもと一緒に楽しんでいた。

「絵本の読み聞かせと紙芝居」ブースの「紙芝居」もまた大繁盛だった。茂原北陵高校生が子どもたちと上手く溶け合い、一緒になって紙芝居を楽しんでいた。その様は誠に見事というほかにない。

2025年12月1日(2) <特集号>

「子ども将棋ひろば」ブースはベテランの先生(担当会員)たちが熱心に子どもたちと相対していた。初めて駒を並べる子どももいたがどんな気持ちだったのだろう、聞いてみたい。きっと楽しかった、というだろう。

「茂原街塾」ブースの「魚釣り」は絶妙にできていて、たくさん子どもたちが集まってきた。茂原高校は先に話したように、自分のところ以外のブースも手伝う程多数の生徒たちが参加して、この「ひろば」を盛り上げてくれた。



<紙芝居>



<魚釣り>

また、当日は「ハロウィンフェスタ」も同時開催され、ハロウィン衣装の子どもたちが一層賑わいを醸し出してくれた。最後に、子どもたちに楽しさと喜びを与えてくれた、「子どもあそびひろば」参加団体のすべてのみなさんに有難うと感謝のお礼を言おう。

さて、最後に子どもたちへのアンケート結果(入場者のうち60人)の一部を紹介しよう。

1、(質問)楽しかったですか

・楽しかった 57人 ふつう 3人

第3種郵便許可NALC(ナルク)情報

- ・また来ます 58人 わからない 2人
- 2、(気づいたこと、感じたこと)を書いてください
- ・昔あそびは良いと思います(5歳の保護者)
- ・子どもに寄り添ってくれて楽しかった(5歳保育園の保護者)
- ・楽しかった!規模がおおきくて驚きました(2歳保育園の保護者)
- ・おはじきが一番楽しかった(小学1年男)
- ・みなさんの雰囲気がとても良くてまた来たいと思う(3歳幼稚園の保護者)
- ・人見知りの子だが、スタッフの方が優しくかったお陰でか、お手玉や折紙に積極的に取り組み、話しかけたりしてとても楽しんでいました。もっとひんばんにやって頂きたいです(年中保育所の保護者)
- ・高校生のお兄さんお姉さんが優しくしてくださりうれしかったです!ありがとうございました(3歳の保護者)
- ・良い時間とても楽しむことが出来ました(小学3年女)
- ・楽しかった(小学1年女・小学4年男ほか)

<私たちのサークル会活動報告>

「うたごえの会」Dブロック 浅野美津子
若若しい歌声が事務所に響いている。月2回の「うたごえの会」の日。歌の上手、下手を問うことなく楽しく歌う。なによりも選曲がいい。郷愁を誘う曲。哀愁を伴うもの。「詩がいのよね」「思い出すよ」叙情的な詩によって、血気盛んな青年期や密かに揺れ動いた乙女心に時間が遡る。

咽喉(のど)に心地よい疲労を覚え、ちょっと休憩。誰ともなく思いついた話題で談笑。そこに垣間見たAさんの生き様。Bさんの意外な日常に驚き、親しみがより深まる。歌いたくなければ歌わなくていい。音が外れてもいい(筆者のことです)。強制されることなどない。皆で声を出して歌う。帰途心がほっこりしていることに気付く。ご一緒にいかがですか。

NPO法人ナルク茂原「いちごの会」設立25周年
記念事業<第2弾>

「福祉のある“我がまち”づくり」懇話会

「茂原」のまちづくりについて考えてみませんか



<会場 茂原市役所市民室>

先の25周年記念講演会の開催に続いて、第2弾として実施した懇話会は11月9日(日)13時に始まった。午前中降っていた雨も止み、会場も予定通りに席も埋まり、本日の懇話会会場の雰囲気醸し出してくれたようである。

初めに司会の鈴木ナルク事務局長から本日参加下さった茂原市役所高齢者支援課吉田功課長、同地域包括支援室石井勝泉室長、茂原市社会福祉協議会地域福祉課岩村善史課長代理、そして本会企画時からご協力頂いた茂原市地域包括支援センターのほんのう野方哲也、もばら山口さゆり、ちゅうおう山田晃瀧、みなみ小川和美の各センター長のみなさんを紹介し、代表して吉田課長にご挨拶をお願いした。

第3種郵便許可NALC(ナルク)情報

次に、ナルク茂原松永代表から本日の意見交換会の参考資料として、「茂原市高齢者保健福祉計画」及びナルクの「一人暮らし高齢会員への日常生活支援サポート」を資料に地域高齢者の生活支援の課題や問題点を指摘、提案があった。続いて、ほんのう地域包括支援野方センター長より地域包括支援センターの業務内容の説明と茂原市における地域福祉の現状と課題について報告があった。

それから、本番の意見交換会に移った。コーディネーターのナルク松永代表からすすめ方を説明、一人暮らしや高齢者夫婦のみの世帯及び認知症高齢者への生活支援についての課題とそれに対する対応や対策等について順次発言を求めた。

そして、その中で会場からの質問に対しては、市役所をはじめ参加者の担当者のみなさんからその場で回答があった。

その意見や質問の一部を次に紹介しよう。

○一人暮らしの高齢者への生活支援活動等について

- ・見守り活動をしている民間企業等について説明して欲しい(郵便局、金融機関、コンビニ)
- ・社協のボランティアは弁当配達と見守り活動をしている。民生委員への連絡も
- ・高齢者の通院や(百歳体操)通いの場行きの移送サービスをどうするか(市にはタクシー利用券の制度がない)
- ・地域との関わりのない一人暮らし高齢者に対しどう対応していくか
- ・一人暮らし高齢者がデイサービスを希望する時緊急連絡先や身元保証人が必要だが、いない時はどうするか?(ケアマネや地域包括支援センターが代理引受けする)

○認知症高齢者支援について

- ・市に登録の認知症サポーターがもっと活動するよう方策を検討してはどうか
- 福祉のあるまちづくりのための地域高齢者支援について

2025年12月1日(4) <特集号>

- ・高齢者が担い手として地域高齢者の支援に参加する人・ボランティアを増やすために常に声掛けなど仕組づくりが必要
 - ・どんな団体も高齢化している。ボランティア団体にも若い人が集って来ない。後継者不足になる。組織づくりを考える必要がある。また、子どもの頃から福祉教育を重視すべきだ
 - ・福祉の情報をみんなで共有するために、何かよい方法を考えるべきだ
- 福祉のまちづくりのための「地域のネットワーク」づくりについて
- ・このように市民や福祉関係の団体が集まり、ネットワークを作り、定期的に話し合いをすればよい
 - ・市のコーディネーターをリーダーに福祉団体の定期的会合の実施を提案したい

今回の懇話会について、時間の制約もあり、十分な話し合いができず、不消化のまま終わってしまったのではないかと思う。ただみなさんの発言から、福祉のまちづくりに対する共感が得られたように思う。

また、今回市民の参加が思ったより少なかったのは残念だが、市民と団体が一緒に福祉のまちづくりについて話し合った、このような会合をもっと持つべしとの意見もあり、これからの期待したいと思う。

「ふれあいナルクカフェ」を開く

—おしゃべりを楽しむ!

11月14日(金)13時より月1回のカフェが開かれた。事務所内には4つの組に分けて座席が出来ている。参加者は出席時に毎回くじ引きで自分の座席を決める。そのため毎月座席のメンバーが変わることになる。結果として多くの会員とのおしゃべりを楽しむことができ、興味津々だ。

次にそのおしゃべりだが、最初は全席統一した話の種を担当ブロック長が発表してくれることになっていて、今回はこれまで

第3種郵便許可NALC(ナルク)情報

観た映画やドラマの話となった。ところが席によっては一人を除いてみんな最近映画を観ることがないということである。また、朝ドラマも観ないというひともいる。それぞれだが、その後は茂原に映画館がないのは残念だとか、もっと文化施設があつていいとか、話はまちづくり論?にまで発展する。

かくのごとく、遠慮なしの楽しいおしゃべりがまたよい。そのうち打ち解け合つて、本音の話が聞けることも、話は尽きない。そうそう、机の上のコーヒーやお茶、そしてお菓子がゆったりした気分させてくれる。そのうち定時の15時、みんなでおなじみの歌を歌い、御開きとなった。

10月度特定会議はEブロック

と「増員プロジェクトチーム」会議

10月8日(水)は10時~12時Eブロック会議、13時~15時増員プロジェクトチーム会議が開催された。

前者はEブロック所属の会員が出席、本年度の拠点目標について再確認、そして特に増員の協力、時間預託助け合い活動への積極的取組について話し合った。本日は多くの発言があり、活気ある会議となった。

後者については、各ブロックから選出されたチーム員で会員の増員対策について話し合った。今までの対策や活動でも思うような成果が出ず苦慮しているが、今回の会議でもその点を話し合った。そして、次の対策を加えることにした。1、「ふれあいナルクカフェ」に市民の参加者を募る2、「アスモサロン」時、ナルク入会案内チラシをアスモの来客に配布PRする。

「ナルク菜園クラブ」いも掘りを楽しむ

10月21日と11月18日。さつまいも堀を午前中に実施した。会員は遠方より、菜園に集まった。大きないもが獲れて、みんなにこにこ顔だ。帰りには袋いっぱい持ち帰った。おまけに大きな大根1本もおみやげに。心が晴れ晴れする楽しい風景だ。